

京都大学：藤井ゼミとの研究成果交流シンポジウムを終えて

－篠田ゼミ：学生の感想文－

● 3年生

➤ 向井 健人

今回の交流ゼミはお疲れ様でした。特に京都大学の方々は遠路はるばるありがとうございます。私たち篠田ゼミ3年生にとっては意識面、そして知識面においても多大なる刺激を受け今後の学習の展延に対して大きくかかわるものとなりました。

そして、発表についてですが私たち篠田ゼミ3年生の発表については正直なところ準備不足や各々の意欲が不足していたと京都大学の発表を聞いたことでひしひしと感じておりました。

また、当然それぞれの研究内容が異なっていたという点もありますがそれを差し引いた上でも配当のシグナリング仮説について私たちの理解が足りず、私たちが受けたプラスの影響に足るほどのものを藤井ゼミの方々へ送れたのかと反省せずにはられません。それでも何かしらの気づきが生まれたのであればうれしく思います。

➤ 菊谷 健斗

今回の交流ゼミを通して藤井ゼミの皆様の問題へのアプローチの多様さ、指摘の鋭さには驚きを受けるとともに参考にしなければならないと感じました。

3回生の配当シグナリング仮説の実証分析は、先行研究に基づいた形の発表となっており、先に控える卒論の執筆においても、その研究姿勢には学ぶべき点がありました。

今回は研究領域の異なるゼミ同士の交流ということで、新たな思考に触れることができ、非常に有意義なものであったと私自身感じています。藤井ゼミの皆様にとっても何かの気づきがある機会となっていれば幸いです。ありがとうございました。

➤ 橋田 類

北大篠田ゼミ6期生の橋田です。京大の皆さん、藤井先生、今回は貴重な機会をありがとうございました。京大の方々の発表を見て、皆さんは学部時代から既に学問に寄与するための「研究」を行うという姿勢が自然と身に付いており、流石だなあと感じずにはいられませんでした。普段、北海道でのんびり過ごしている北大側にとって、今回の皆さんとの交流はとても良い刺激になりましたし、様々な意欲を強く掻き立てられるものとなりました。今後もこのような貴重な機会を是非とも継続し、京大生・北大生お互い一層の発展を促すものになれば、と思います。また、今回は限られた時間だったため、ゆっくり語らうことは出来ませんでした。是非ともお互いに良き友人になれば、と思います。今回はわざわざ北海道まできていただき本当にありがとうございました。お疲れ様でした。

➤ 俵 和久

今回は、わざわざ北大までお越しいただきありがとうございました。

京都大学は統計学などを用いた配当の効果の分析ということで、今まで私たちのゼミで行ってきたこととは違う視点からのアプローチでした。また、今後このように交流ゼミがあるかは分かりませんが、さらに今後の改善を加えた上での報告をぜひ再び聞きたいと感じました。

今後の私たちの研究に新たな着眼点を与えてくれた点で非常に有意義な合同ゼミとなったこと感謝すると共に、ぜひまたこのような機会が設けられると良いなと感じました。

➤ 北村 沙織

今回の京都大学藤井ゼミのみなさんとのシンポジウムでは、ゼミ同士の様々な違いを感じました。同じ会計を取り扱うゼミとは言っても、藤井ゼミのみなさんの発表内容である、配当に関する実証研究はわたしにとってほぼ初めて目にする内容ばかりで、大変勉強になりました。また、わたしたちの発表に対しては色々な角度からご指摘をいただき、質問の鋭さに驚きましたし、刺激も受けました。やはり他大学のゼミと交流させていただくことは、新鮮で大変貴重な経験になると再確認しました。

➤ 大谷 真央

お互いに会計系のゼミではありますが、学習している領域が異なるため京大の発表はとも新鮮でした。配当分析は学習してないためよく理解できないのではないかと不安でしたが、京大の発表がわかりやすくまとめられていたため理解がしやすかったです。

京大は発表がわかりやすく内容が充実しているだけでなく、鋭い質問や的確な受け答えなど質疑応答が非常に優れていたと感じました。北大もそれを見習っていきたいです。今回のシンポジウムは刺激を受けるいい機会となり、満足しています。京大の皆様ありがとうございました。

➤ 星野 晴香

藤井ゼミの方々と篠田ゼミとでは勉強していることが違っており、交流ゼミをして自分が理解できるのか不安がありましたが、配当シグナリング仮説についての実証研究の発表は、わかりやすく説明いただき、面白い研究だなと思いました。

視点が違うとすることも異なり、研究の際には多くの視点から見ることを考えていかなければと思いました。また、藤井ゼミの方の鋭い質問や勉強に対する意欲は流石だなと感じ、見習うべき点がたくさんありました。

貴重な経験ができ、有意義な時間でした。わざわざ北大まで足を運んでいただきありがとうございました。

➤ 吉村 万里奈

合同ゼミお疲れ様です。

今回の合同ゼミによって、私たちが現在勉強している内容とは別の内容を学ぶことができて、とても良い経験になりました。京大さんの発表内容は、私たちが普段勉強している財務分析とは違って、別の視点からの分析方法を知り、私も今後の学習において深く勉強してみたいと思うことができました。また、合同ゼミの後の懇親会でも、京大さんの普段の学習についてのことや京大での出来事などを聞くことができ、とても良い機会になったと思います。ありがとうございました。

● 4年生

➤ 石橋 由依

遠い中北海道までお越し頂きありがとうございました。

私は発表する立場ではありませんでしたが、京都大学の方々の北大とは違う研究の雰囲気や、また質疑応答の際の視点が興味深く、とても刺激になりました。懇親会も、京大の人はどんな話をするんだろうと不安でしたが、皆さん気さくで話しやすく楽しい時間をごせました。今回限りでなく、これからも良い影響を与えあっていける存在でいられたらと思います。

➤ 炭村 達也

京都大学の皆様お疲れ様でした。

大学の制度の違いもあり、研究にチームで取り組む熱意が非常に私たちには新鮮に感じました。また議論の中での皆さんの頭の回転の速さと知性には同じ年代の学生として驚かされるばかりでした。

その後の交流会で話してみて、各学年のゼミ生が非常に親密でお互いをわかりあえている所がゼミ研究でのチームワークにつながっているのではないかと感じました。

京都大学の自由な気質の学生と交流出来て本当に有意義になったと思います。ありがとうございました。

➤ 工藤 和奏

○藤井先生、藤井ゼミの皆様

この度は遠路はるばる北海道まで来て頂き、貴重な機会を頂けたこと、まずは御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

卒業論文についてゼミ外で展開する機会はほとんど無かったので、今回発表の時間を頂き、様々なご意見を頂くことが出来、改めて自分の研究の方向性を見つめ直す機会になりました。

可能であれば2回生、4回生の方の発表を聞いてみたかったというのが正直なところではありますが…。

今回3回生の方々の発表を聞かせて頂き、特に先行研究のレビュー→問題提起→実証分析→検証→修正、検証・・・という学術的な論理展開の重要性について感じる事が出来、自分達に足りないものを改めて実感することが出来たと感じています。

○余談

余談にはなりますが、配当シグナリング仮説についての解析結果を配布資料として頂いていたので、私自身でRでの簡易再現を行ってみました。(EViewsを使ってみたくて始めたのですが校内で使用環境が無かったのでRです・・・簡易データでの実装なのでさらに結果も少し異なりますが)実際にやってみて改めて、3回生のみなさんが裏付けに基づいた緻密な分析を行っていたことを実感出来ました。個人的には、解析結果をどのようにスライド上や紙上で表現するかというのが類似の分析を行う上で永遠の課題だと思っているのですが、京大3回生の方の、推定結果の符号を表で表す、という表記方法は直感的で、テーマに対する答えとしても分かりやすく、非常に参考になりました。

○結び

私自身拙い発表を行うなど至らぬところも多々あったと思いますが、暖かく見守って頂き、重ね重ねありがとうございました。学生のみなさん、本当にお疲れさまでした!!! 旅行等でもまたぜひぜひ北海道にいらしてください。

➤ 志村 伊織里

京大の皆さん、先日はシンポジウムお疲れ様でした。特に寒い日でしたので、いらっしゃるのも大変だったのではないかと思います。他大学の学生の方々とお会いし、互いの研究内容を深く知ることのできる機会は少なく、非常に貴重な経験をさせていただいたと感じています。ありがとうございました。

京大3回生の皆さんの発表は、私が普段触れることのないような領域のもので、大変興味深く聴かせていただきました。途中段階であると仰っていたと思うのですが、最終的にどのような結論が導き出されるのか、とても気になりました。また、内容以外でも、テーマ設定やアプローチの方法など、同じ経済学部であっても違いが見られ、刺激的な時間を過ごさせていただきました。

私たち4年生は卒業してしましますが、是非またお会いできる機会があることを願っております。本当にありがとうございました。

➤ 中川 岳大

今回のシンポジウムではいい刺激を受けることができました。配当に関する実証研究についての発表は、個人的に株式投資をしている私にとって興味深いものでした。先行研究を十分理解したうえで研究を進めることの大切さを改めて感じました。

また、私は卒業論文の経過報告ということで発表させていただきました。藤井ゼミのみなさんとの質疑応答、そして藤井先生から頂いたコメントは、私の卒業論文作成にとって非常に有意義なもので、是非参考にさせていただきたいものばかりでした。この場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

➤ 小山 俊平

この度の藤井ゼミとのシンポジウムでは多くの学びがありました。まず、異なる分析手法や考え方について知ることが出来たことです。実証研究として先行研究や仮説の研究、検証を行っていく手法は馴染みがなく、難しさを感じる一方、非常に興味深く感じました。また、発表に対する質疑についても、私たちとは違う着眼点からのものが多く、非常に参考になりました。

今回のシンポジウムで得た刺激を今後活かしていきたいと思います。ありがとうございました。

➤ 広瀬 梨奈

先日は遠方よりご来訪いただきありがとうございました。

皆様がいらっしゃった日は北海道でも寒さが厳しいと感じる日でしたので、体調などは崩されてはいなかったでしょうか？

さて、合同ゼミの件ですが、私単体としては特に発表は行わなかったのですが、3回生の方の発表を聞き、自らの卒業論文の執筆に拍車をかけなくてはと感じました。また、こちら側の発表の際にもたくさんのご指摘をしていただきまして、大変参考になりました。私は3月に卒業となりますが、両ゼミがこれから益々の発展を遂げていくことを祈るばかりです。

本当にありがとうございました。